

## 子どもを地図好きにする「遊び心」いっぱいの活動:完成

山陽町立津布田小学校 植木数弥

### “はてな?ボックス”

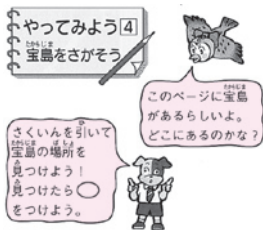
地図に楽しさがいっぱいつまっていることが実感できれば子どもはどんどん地図を活用するようになります。

では、どうやって楽しさを実感させるかです。それには、「遊び心」いっぱいの活動を仕組むことが大切です。

まずは、地図帳との楽しい出会いの演出です。地図帳を“はてな?ボックス”に入れ、次のように言います。



そして箱から地図帳を出します。子どもたちの目は地図帳に釘づけ。子どもたちをゆっくり見ながら、「日本には、むかしむかし海賊が宝を隠したといわれる宝島があるのじゃ。この地図帳にはその宝島がちゃんと載っているのじゃあ。探してみたくないかい」と問題を出します。



子どもたちは、目を輝かせ地図帳をぱらぱらと開いてさがすのですがなかなか見つからないわけです。そこでp.62の「さくいんの引き方」を示し、地名をさがす「学び方」を教えるわけです。徹底的に困らせて

おいて教えると「さくいん」から地名をさがす便利さに気がつきその効果も絶大です。

その後は、宝島に負けない面白地名を見つけたり、自分と同

じ名前の町をさがすなど、楽しい「さくいん」活用学習につながります。自分の名前と同じ町さがすと、さらにはその町の特産物調べはたいへん盛り上がりました。(指導書のさくいんをコピーして子どもに渡しておく活動の幅がさらに広がります。)

子どもたちがつくった楽しいクイズをいくつか紹介します。

### 都道府県おもしろクイズに挑戦

海水浴のできない県はいくつ?

「モーニング娘」の出身県をさがしてみよう。

「プロ野球選手」(Jリーガー)は何県出身者が多い?

山口から東京に新幹線で旅行します。新幹線が通る県をすべてさがしましょう。また通る県でおみやげを買きましょう。

台風19号が通った県をすべて白地図に書きましょう。

被害が出た農産物を予想して書きましょう

### 都道府県ジグソーパズルに挑戦

地図帳をカラーコピーし、都道府県別に切り離し47ピースをつくりジグソーパズルに挑戦。班ごとに競争させると白熱します。地



図帳は、百万分の1の縮尺(北海道と沖縄は注意)なので、最後にスケールの大きい日本地図ができあがります。(写真参照)

### 地区別県取りゲームに挑戦

さいころを転がし、出た目の数の大きい人が一つ好きな県をもらえるゲーム。ただし対戦時間がかかり過ぎないように、都道府県を九州地方、中国・四国地方、近畿地方、中部地方、関東地方、東北・北海道地方の六つのブロックに分けて、ブロックごとに対戦を行うようにしています。

### ゲーム・クイズを終えて

「遊び心」いっぱいの活動は、調べたいという子どもの意欲を喚起し、楽しみながら地図帳を開く地図好きの子どもたちを育てるといえます。